

第3回 D-Wind Rally 『妙義・碓氷 山道めぐり』

作成記風コース案内

『D-Wind Rally』と名づけてから最初のオリジナルラリーだ。前回の2コースと同様、“ドライブ”の要素を考えて、家族ずれ、仲間同士での参加者が、一息つける場所をCPに設定してコースを作成した。

スタートは、これも前回2コースと同じく、遠方からの参加者が判り易いように高速道路ICの近くとし、今回は、上信越道藤岡ICから数分の『群馬の森』とした。



6CP「妙義町立ふるさと美術館」から見る妙義山。今回、複数のCPから妙義山を眺める事ができる。

群馬の森 (スタート)	県立の森林公園。4haの大芝生広場や約5万本の樹木がうっそうとした森を作っている。敷地内には、県立近代美術館、歴史博物館もあり。 営業時間＝7時40分～18時30分 無休 入園無料
----------------	---

休日となると大勢の家族連れで賑わう『群馬の森』を後にして、ODへ向かう。藤岡市には『庚申山総合公園』と言う公園があり、問題のネタも多々あるのだが別の機会に譲り、今回は、昔のPDQM(こんにやく街道95km)を知る人には懐かしい『三名湖』に向かう。

三名湖辺りも土地改良工事が進み、当時のPDQMのコマ図ではつながらない個所もある。今回は、当時とは違う道から三名湖に上がる事にした。三名湖畔で一つ問題をとしたが、「こんにやく街道95km」と同じ問題になってしまいそうなので、先に進み土地改良工事がらみの碑を問題とした。

三名湖 (OD)	ヘラブナ釣りのメッカ。 PDQM「こんにやく街道95km」の問題Dの答が「ヘラブナ」でしたね。
-------------	--

ODから1CPへ向かう。コマ図8図先の信号を左折した先が、「こんにやく街道95km」の1CPだった西毛変電所だ。今回は、直進し抜群の眺望がある牛伏山自然公園に向かう。県道から左折しいよいよ今回のタイトル通り『山道めぐり』に入る。途中集落の中を抜けるので、注意して走って欲しい。

牛伏山 (1CP)	標高491mとあまり高くないが、頂上からの眺めは抜群。天守閣の形をした展望台がある。開園時間＝9時～17時(頂上に上がる道が閉鎖されます)
--------------	---

牛伏山から下る別ルートは、残念ながら通行止め。仕方なく、上がってきた道を少し逆走し、2CPへ向かう。2CPは、織田信長の二男信雄が築いた城下町小幡。24図手前には、織田家7代の墓があるが、少しアプローチしにくいので立ち寄り長巖寺に向かう。長巖寺の先には、子供も大人も楽しめる甘楽総合公園もあるが、休日には駐車場が満車になりそうなので長巖寺をCPとする。

長巖寺 (2CP)	本堂の裏山に日本一大きい摩崖仏がある。気合を入れて(?)登って、見て欲しい。第1回D-Wind Rallyのコースにあった『関の摩崖仏』とは違い、昭和54年完成の新しいものである。
甘楽総合公園 (2CP先)	ローラー滑り台やピョンピョン円盤など子供の遊具がたくさんある。また、隣接する「甘楽ふるさと館」では食事や農作物の収穫などの田舎体験もできる。

2CPから群馬サファリパークのある丘陵を右手に見ながら西に進み、大塩湖の湖畔を通り藤田峠森林公園に向かう。大塩湖畔は、休日は家族連れが多く、やや道が狭いので子供には注意して欲しい。また、問題Hは速やかに解答して、移動して欲しい。

藤田峠に向かう道は、車に乗っていながら森林浴が楽しめるような道。気持ちよく走れると思う。藤田峠森林公園を3CPとした。

大塩湖	湖畔には桜、ツツジ、アジサイなどが植えられ、春には色とりどりの花々が咲き競う。夏は、散策やボート遊びを。サイクリングロードは現在整備中。
藤田峠 森林公園 (3CP)	ハイキングや森林浴が堪能できる。遊歩道、展望台も整備されている。また、子供向けの遊具(ここにもローラー滑り台あり)や小川で遊べるせせらぎ公園もあり。入園料無料で、キャンプ場もある。

3CPから一度県道に下り、下仁田に向かう道を探す。素直に「こんにやく街道95km」と同じルートで三本杉峠を越えるのはつまらないので、テレビ中継塔の脇から下仁田ICに抜ける道をトライする。中継塔への道から分岐するとすぐにダート。ちょっとやばいかなと進むと案の定道が崩れている箇所があり断念。イブサムでのバック走が数百mで良かった…。結局、三本杉峠を越えて下仁田へ。

次に下仁田から菅原道真を奉る菅原神社のある妙義町菅原への道をトライするが、これもダートで、ガードレールの無い結構きつい上り坂で切り返しをしないと曲がれないコーナがあり、やや危険と判断。違う道を探すために逆(5CPの大桁緑地公園)からアプローチしたが、林道入口に鎖が掛けてあり、結局断念。妙義スプリングスカントリー倶楽部の前を通る道で迂回する。途中4CPを設け、5CPは大桁緑地公園に設定。ここは、なぜか恐竜がテーマ。恐竜の足こぎポートや恐竜の遊具がある。恐竜マニア必見？

大桁緑地公園 (5CP)	実物大の恐竜の滑り台などがある。また、無料の休憩施設(湖城の館という名前はちょっと怪しいイメージ?)もあり、日曜日には手打ちそばを食べる事もできる。
-----------------	--

大桁緑地公園をスルーのCPにできなかったため、同じ道を県道まで下る。ここから、今回絶対コースに入れたかった裏妙義へ抜ける道へ向かう。妙義山中之岳に向かう道の途中から林道に入る。数年前通った時は、一部荒れた箇所もあったがイブサムで十分走れたダートだったので、今回のメインイベントと考えていた。ダート好きのエントラントもいる事だろうし…。「ラリー練習禁止」の看板があるにも関わらず、明らかにラリータイヤが削り取った轍が各コーナに深く残っている。恐らくラリーストもどきの心無い奴の仕業であろう。

崩れて道に落ちている岩を路肩に退けながら慎重に進む。分水嶺のトンネルを抜けたとたん、『道路決壊松井田町』の看板が出てきた。通行止めの遮断機は開いていたので先に進むと、林道のほとんど終点近くで路肩が崩れている。車は通れる道幅は残っているが、やはり、通行止めの道をコースにするのは、ML-DRCの精神に反するので非常に残念だがここもキャンセルとする。

裏妙義が通れなくなると、表妙義を通らざるを得ないが、この道は、別の企画のために残しておきたいので菅原に戻り、違う林道で金鶏山の先に出る事とした。見上げる妙義山の姿が美しい妙義町立ふるさと美術館を6CPとする。

妙義町立 ふるさと美術館 (6CP)	町出身の画家の作品を展示する本当に町に密着した美術館である。なぜか、ここにもローラー滑り台がある。
--------------------------	---

妙義神社の鳥居の前を通り、アプローチできなかった妙義湖の中本ダムの下を通り横川に向かう。中本ダムの下を渡る時、ダムの方を見て欲しい。なぜかダムの上からではなく、横の方から豪快に放水されている。上から放水すると自分達が通っている道まで飛んで来そうではあるが。

国道18号、上信越道を越え、小根山森林公園へ向かうが、アプローチする道が1本しかなく、スルーのCPにできないため、仙ヶ滝を回るコースに変更し、仙ヶ滝に7CPを置く。仙ヶ滝は規模は小さいが非常に気持ちの良い滝である。マイナスイオン効果…(どこかのPDQMの答だったような)。滝に下りるには、CPの先の橋を渡りその先を左折。車は駐車場に置く事。

碓氷関所跡の脇を通って横川駅に隣接する碓氷峠鉄道文化むらをCPとする。ここは、DR群馬地方戦『SUBARUクイズ&ラリー』の最新号のコースのゴールであったため、もう既に訪れている参加者も多いと思うが、あえてもう一度CPとした。横川と言えば、釜飯。横川駅前にあるおぎのや本店(これが本店?という大きさが…)で、釜飯を味わって欲しい。

碓氷峠 鉄道文化むら (8CP)	ご存知、長野新幹線の開通に伴い廃止になった信越線横川～軽井沢間。その横川の機関区跡に造られた鉄道テーマパーク。子供より大人の方が楽しんでいる鉄道好きにはたまらない場所。私のお勧めは、鉄道資料館の中にある『横川駅構内や碓氷峠越え中の運転席などの音を聞かせるコーナー』。目を閉じて音だけを聞いていると逆に臨場感が出てくる。
------------------------	---

そして、いよいよゴールに向かう。今回も前2回と同様に温泉をゴールとした。霧積温泉である。軽井沢が避暑地として賑わうまでは、ここが避暑地のメッカであつたらしい。そのため与謝野晶子、幸田露伴、西条八十など多くの文人が訪れている。今は、ひなびた温泉地だがここの風呂に入っているとその静けさに心洗われる思いがする。あまり温泉好きでない私が唯一お気に入りの場所だ。そして最後の問題は、『霧積』と言えば、これしかないと言う問題。われわれの年代ならすぐ分かる問題だが、若い人はちょっと辛いかな？霧積に向かう道は、温泉客なども下ってくるので注意して走行して欲しい。

今回、『山道めぐり』と題して多くの林道をアプローチしようとしたが、残念かな使えない道が多くちょっと中途半端になってしまった。その代わりに言うては変だが、なぜか今回のCPには滑り台が多い。車ではなく、自分の尻を滑らせて欲しい。サブタイトルで『滑り台めぐり』とした方が良いかな…？